



「読書推進講演会」2022年度

親から子へ、子から孫へ

一読み継がれてきた  
子どもの本の魅力とその裏側

【講師】 汐崎 順子さん

【日時】 8月6日(土) 13:30~15:30

【会場】 富士宮市役所7階 特大会議室

【定員】 会場50名、オンライン参加50名

【託児】 1歳以上10名まで

【申込み】 7月12日(火)~27日(水)

【受付】 富士宮市教育委員会 社会教育課まで  
電話または電子申請で

【参加費】 無料

\*詳しくはチラシをご覧ください。



「芝川絵本とわらべうたの会」2022年度①

日時 7月30日(土) 10:00~11:30

対象 富士宮市在住の乳幼児、小学生と  
その保護者

定員 7組

場所 芝川公民館 芝川子どもふれあい広場

申込み 7月7日(木)~21日(木)

市民読書サポーターのいる日程 7月

富士宮市立中央図書館 (10時~11時30分)	
9日(土)	16日(土)
23日(土)	

夏休みにおすすめの本の紹介(低学年向き)



くんちゃんのはたけごと

ドロシー・マリノ さく  
まさきりこ やく  
ペンギン社

あるお天気のいい朝、こぐまのくんちゃんはお父さんの畑仕事のお手伝いをする。くんちゃんは種を蒔いたばかりの畑を熊手でひっかいたり、雑草に水をかけたり、とうがらしの花を摘みとったりと失敗ばかりして、お父さんに「ちがう、ちがう！」と叱られる。そこで畑の端に座ってお父さんのすることをじっと見てから、種を蒔いたばかりの畑に水をやり、雑草を抜き、とうがらしの木におおいをかけてやると、今度は「なかなかうまいじゃないか」とお父さんにほめられる。

他に『くんちゃんのはじめてのがっこう』などがある。



エーミルと小さなイーダ

リンドグレーン 作  
さんぺいけいこ 訳  
岩波書店

エーミルは、スウェーデンの農場に住む男の子。毎日のように騒動を起こしては、罰として作業小屋に閉じ込められる。そのたびに木彫りの人形を作って時間を過ごしているの、棚にはずらりと人形が並んでいる。妹のイーダはエーミルがうらやましくて、自分もいたずらをして作業小屋に閉じ込められたいと思っているが……。

このシリーズには『エーミルのいたずら 325番』『エーミルのクリスマス・パーティ』がある。岩波少年文庫には『エーミルはいたずらっ子』『エーミルとクリスマスのごちそう』『エーミルの大すきな友だち』がある。



セロひきのゴーシュ

宮沢賢治 作  
茂田井武 絵  
福音館書店

ゴーシュは町の楽団のセロ弾きだが、演奏が下手で、いつも楽長に叱られていた。夜、家に帰って練習をしていると、大きな三毛猫やカッコウや野ねずみが、「トロイメライをひいてご覧なさい」とか「音楽を教わりたい」とか「この子の病気を治して下さい」などといって、やってくる。ゴーシュは「なまいきだ！」とうるさがるが、毎晩動物たちの相手をしてセロを弾いてやる。そんなことが続いて6日目の晩、町の音楽会でなんとゴーシュの演奏は素晴らしいできばえだった。

絵は、作品の素朴で不思議な雰囲気を見事に表している。

\* 読書と読み聞かせ推進事業のメルマガを始めます。裏面をご覧ください \*